



# The 50th

*-anniversary-*

黒石原産業株式会社

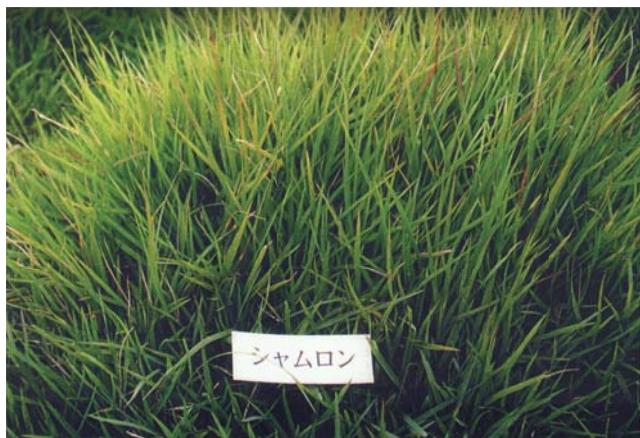
50周年記念ターフ  
「シャムロン」芝特性説明書  
種苗法品種登録第10254号

芝生と  
あゆみ  
五十年



耐寒性、耐暑性に優れたスポーツターフ  
東海大学農学部(阿蘇キャンパス)共同育成品種

## シャムロン



この品種は熱帯地方の「コウシュンシバ」生態型と、「熊本ノシバ」生態型との種間交雑により作成された雑種後代の中から選抜されたものです。

熱帯地方の「コウシュンシバ」は休眠期間が短く、耐暑性に強い特性と、シバの生育旺盛で、耐寒性に強い特性も合わせて具備しています。

草型はややほふく型で葉長はかなり長く、葉幅は中程度です。ほふく茎の太さは中程度で、伸張量は大きく、節間長はやや短いため、早急に密な芝地を形成します。春の緑化開始が早く、早春から夏季の草勢が極めて良好である事が最大の特徴です。

葉長は「Meyer」と比較してかなり長く、葉幅は「みやこ」より狭い。  
両品種と比較してほふく茎が細く、伸長が大きく、密度が高い。  
緑化の開始がかなり早く、春から夏にかけての芝草勢が旺盛である。

### 特性調査基準の調査結果

品種名	草型	匍匐茎の密度	葉色	秋の草勢	越夏性
シャムロン	6	7	5	8	8
Meyer	5	4	6	8	8
みやこ	5	4	4	5	8

春の出穂は育成地において5月中旬頃で中生に属します。また秋にも出穂が見られます。出穂茎の長さ及び穗長が中程度で穂数及び小穂の数は少なく、紅葉の開始はやや早く、越冬性は良好です。銹病には強く、その他の耐病性も良好です。

### 休眠日数調査



品種名	紅葉開始	休眠開始	萌芽開始	休眠日数
シャムロン	11月7日	1月28日	3月22日	61日
Meyer	11月5日	12月27日	4月4日	99日
みやこ	11月5日	12月24日	3月31日	98日

冬季の緑色度の比較(写真:12月26日撮影)

手前が「シャムロン」右奥が「Meyer」左奥が「みやこ」

休眠期間が短い特性を持つ「シャムロン」においては、冬季でありながらも葉の緑色が見てとれます。

## 東海大学農学部(阿蘇キャンパス)共同育成品種

### 緑化の早さ、強い耐寒・耐暑性、銹病抵抗性を持つ選び抜かれた品種



1992年4月から5月にかけて熱帯地方で収集した生態型と、国内で収集した生態型を母体とした5組み合わせの種間交雑を行い、得られた後代について、1992年からポット栽培により各種特性を調査しました。

形質の優れた固体を1994年10月に2m×1.5m間隔で圃場に定植し、1997年春まで休眠期間を主体とする特性の調査を行いました。

それらの中で特にランナーの密度が高く、夏季の生育が旺盛で、休眠期間が短く、耐寒性の強い系統として、本系統が選抜されました。

#### 穂に関する形態調査

品種名	出穂茎の長さ	出穂茎の太さ	穂長	小穂長	小穂幅	小穂数
シャムロン	3.8cm	0.6mm	2.6cm	3.1mm	1.0mm	45.0
Meyer	8.1cm	0.8mm	3.0cm	3.8mm	1.1mm	36.6
みやこ	10.1cm	0.8mm	4.4cm	3.5mm	1.0mm	54.2



#### 葉及び匍匐茎に関する形態調査

品種名	葉長(cm)	葉幅(mm)	匍匐茎の太さ(mm)	5節長(cm)
シャムロン	25.20±3.64	3.29±0.37	1.37±0.13	24.53±2.20
Meyer	10.55±2.34	3.44±0.46	1.55±0.17	13.91±1.45
みやこ	26.85±3.95	3.96±0.34	1.90±0.15	28.97±2.67

シャムロンは伸張が大きく密度が高い



8月8日撮影



8月17日撮影



11月14日撮影



12月8日撮影

荒地を  
緑に  
かえましょ  
う



黒石原産業株式会社

熊本県合志市豊岡1837

096-248-0181



<http://www.peace.kuroishibaru.com>

ピースグリーン株式会社

熊本県合志市豊岡1900-19